



国指定特別史跡・重要文化財

弘道館

おすすめ散策ルート

「弘道館」題字：徳川斉昭筆「弘道館記碑拓本」より



嘉永3年(1850)「水戸城下武士小路図」(模写) 水戸城二の丸に藩主の御殿があり、三の丸には藩校弘道館が置かれました。当時、千波湖は現在の4.88倍の広さがあり、藩主や重臣は水戸城から偕楽園まで船で渡りました。

弘道館散策ルート
約1.5km・約1時間

水戸城散策ルート
約1.7km・約1時間

弘道館は水戸城三の丸に創設された藩校です。



みとしていくはすいとろ
水戸市低区配水塔
(昭和7年設置)



みととうぶかん
水戸東武館



いばらきけんさんのまるちようしや
茨城県三の丸庁舎
(旧県庁舎・昭和5年設置)



からぼり どるい
空堀・土塁

弘道館事務所 〒310-0011 水戸市三の丸1-6-29
電話：029-231-4725

みとしょうこうかふあと
水戸彰考館跡

みとしょうあと
水戸城跡
にのまるてんじかん
二の丸展示館
水戸市立第二中学校

みはらしたい
見晴台

みとしょうあと おお
水戸城跡の大シイ

みとしょうかふあと
水戸彰考館跡

みとしょうあと
水戸城跡
にのまるてんじかん
二の丸展示館
水戸市立第二中学校

みはらしたい
見晴台

みとしょうあと おお
水戸城跡の大シイ

みとしょうかふあと
水戸彰考館跡

みとしょうあと
水戸城跡
にのまるてんじかん
二の丸展示館
水戸市立第二中学校

みはらしたい
見晴台

みとしょうあと おお
水戸城跡の大シイ

みとしょうかふあと
水戸彰考館跡

みとしょうあと
水戸城跡
にのまるてんじかん
二の丸展示館
水戸市立第二中学校

みはらしたい
見晴台

みとしょうあと おお
水戸城跡の大シイ

みとしょうかふあと
水戸彰考館跡

みとしょうあと
水戸城跡
にのまるてんじかん
二の丸展示館
水戸市立第二中学校

みはらしたい
見晴台

みとしょうあと おお
水戸城跡の大シイ

みとしょうかふあと
水戸彰考館跡

みとしょうあと
水戸城跡
にのまるてんじかん
二の丸展示館
水戸市立第二中学校

みはらしたい
見晴台

みとしょうあと おお
水戸城跡の大シイ

みとしょうかふあと
水戸彰考館跡

みとしょうあと
水戸城跡
にのまるてんじかん
二の丸展示館
水戸市立第二中学校

みはらしたい
見晴台

みとしょうあと おお
水戸城跡の大シイ

みとしょうかふあと
水戸彰考館跡

みとしょうあと
水戸城跡
にのまるてんじかん
二の丸展示館
水戸市立第二中学校

みはらしたい
見晴台

みとしょうあと おお
水戸城跡の大シイ

最新情報はここから

ウェブサイト

弘道館

偕楽園

いばらきの公園

日本遺産「偕楽園」もお立ち寄りください

JR常磐線水戸駅北口からバスで約15分
4番乗り場：偕楽園行き→「偕楽園前」下車
桜川車庫方面行き→「歴史館偕楽園入口」下車
6番乗り場：偕楽園行き→「偕楽園」下車

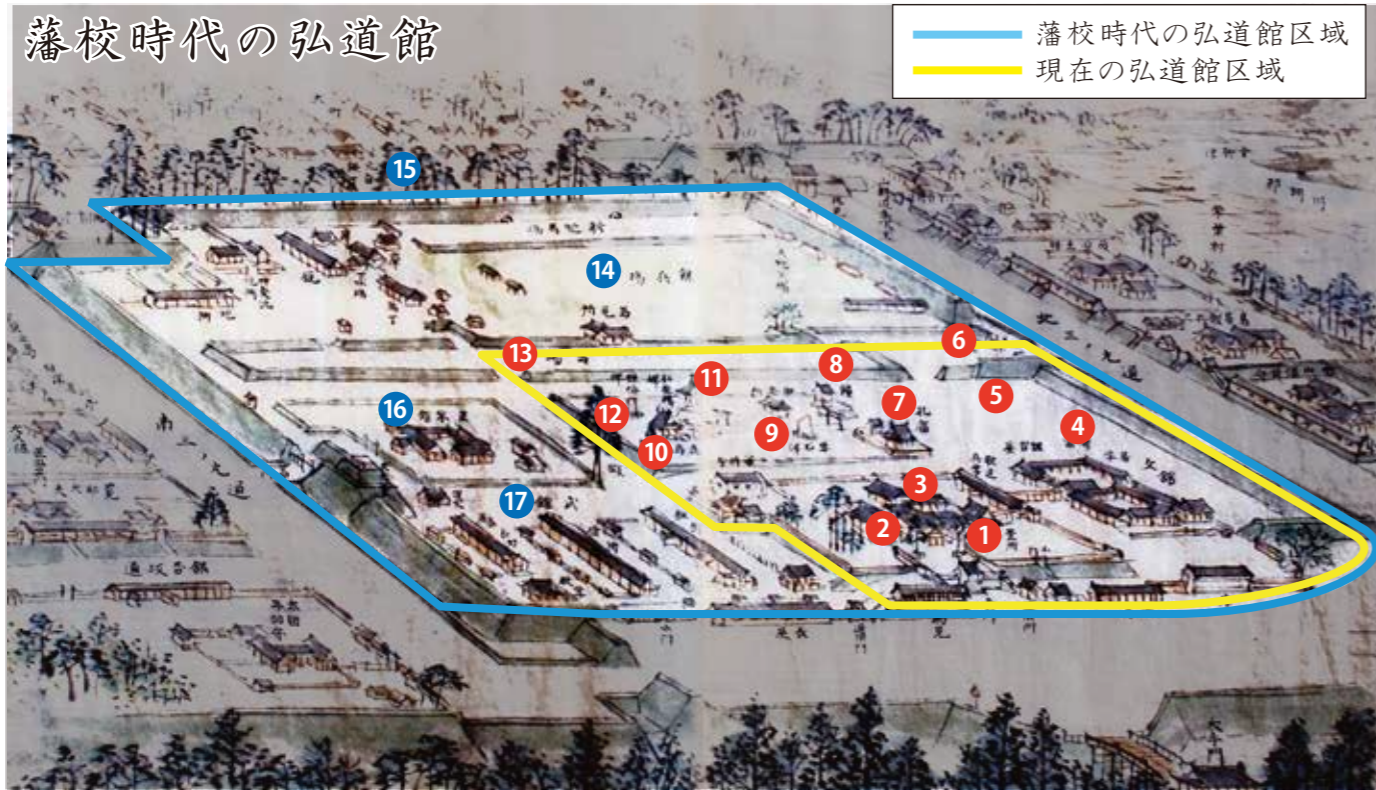
弘道館の概要

弘道館は、天保12年(1841)に水戸藩第9代藩主徳川斉昭により創設された藩校です。水戸城三の丸に建設された弘道館の敷地は、10.5haにもおよび、藩校としては日本最大の規模でした。敷地内には、正庁及び至善堂・文館・武館・医学館・鹿島神社・孔子廟・八卦堂・馬場・調練場などがあり、その配置には建学精神にそって独特の工夫がこらされていました。現在は、その一部3.4haの区域が「旧弘道館」として特別史跡に指定されています。



水戸藩第9代藩主 徳川斉昭

藩校時代の弘道館



水戸市立博物館保管「庶物会要」より

現在の弘道館



2015年4月22日撮影

1 正門 (重要文化財)



本瓦葺きの四脚門、総檜造りです。藩主の来館や正式な行事の際にのみ開門しました。

2 正庁 (重要文化財)



学校御殿とも呼ばれる弘道館の中心的な建物です。藩主の臨席のもとで試験や諸儀式が行われました。

3 至善堂 (重要文化財)



藩主の休息所や徳川慶喜をはじめとする諸公子の勉学の場でした。御座の間は大政奉還後に慶喜が謹慎した部屋です。

4 文館跡 (梅林)



学問を学ぶ校舎で、寄宿寮も備わっていました。
*明治元年の弘道館の戦いで焼失

5 土塁・通路 (復元)



土塁は城郭特有の「喰違虎口(くいちがいにぐち)」と呼ばれる構造です。
*令和元年12月復元的整備

6 北柵御門 (復元)



教職や役人だけが通行を許されていました。
*令和元年12月復元的整備

7 孔子廟 (復元)



神儒一致の建学精神のもと、儒学の祖である孔子が祀られています。

8 学生警鐘



弘道館で学ぶ学生に時を告げる鐘です。

9 要石歌碑



斉昭自詠の和歌で日本人としての進むべき道が示されています。

10 鹿島神社 (市指定文化財)



鹿島神宮から分祀した武甕槌神(たけみかづちのかみ)が祀られています。

11 八卦堂 (復元)



建学精神を刻んだ弘道館記碑が納められています。

12 種梅記碑



弘道館や偕楽園に多くの梅を植えた理由が記されています。

13 馬場跡



乗馬の練習や競馬(くらべま)が行われました。

14 調練場跡 (茨城県三の丸庁舎ほか)



砲場・弓砲場・厩(うまや)等の施設がありました。

15 空堀・土塁 (県指定文化財)



水戸城三の丸の空堀と枳形(ますかた)土塁です。

16 医学館跡 (水戸市三の丸市民センター)



医学の講義のほか、製薬や種痘等も行われていました。
*明治元年の弘道館の戦いで焼失

17 武館跡 (水戸市立三の丸小学校)



武術を修練する校舎が3棟ありました。
*明治元年の弘道館の戦いで焼失